

大会報告

第 66 回大会は、2024 年 8 月 22 日(木)・23 日(金)・24 日(土)の 3 日間、上田市交流文化芸術センター（サントミュージゼ）多目的ルームにて開催された。

総会報告

第 66 回総会は、2024 年 8 月 23 日（金）16:20 より、上田市交流文化芸術センターにおいて開催された。

議事進行に先立ち、議長に益岡了会員が選出された。議長より、総会員数 320 名中、出席者が 45 名、委任状が 98 通、計 143 名であり、総会が成立する旨の報告があった。

（第 62 回大会までは、詳細な大会報告を『会報』のみに掲載しておりましたが、第 63 回・64 回大会は、『会報』と『デザイン理論』に重複して掲載となっておりました。そこで、広報委員会の業務簡素化のため、90 号より『会報』での詳細な大会報告は割愛させていただきます。つきましては、第 66 回大会報告の詳細は、『デザイン理論』85 号 pp.56-103 をご参照ください。）

議事 1. 2023（令和 5）年度 事業報告、収支決算および会計監査報告

〔2023 年度 事業報告〕

事務局担当 倉田委員に代わり高安会長より、2023 年度事業について、以下のように報告があった。

- 1) 第 65 回大会 2023 年 8 月 24 日（木）、25 日（金）、26 日（土）
於 京都精華大学
- 2) 研究例会
第 251 回 2023 年 5 月 13 日（土）
大阪大学中之島センター（ハイブリッド）
- 第 252 回 2023 年 11 月 4 日（土） オンラインにて実施
- 第 253 回 2024 年 2 月 10 日（土） オンラインにて実施
- 3) 刊行物（『デザイン理論』82・83 号、「会報」89 号（web 版））
- 4) 意匠学会賞 各賞の授与（第 65 回大会にて授賞式実施）
- 5) 役員会の開催（5 回）
- 6) 分科会（ウィリアム・モリス研究会）
- 7) 会員の募集
- 8) 広報活動の推進
- 9) 他学会等との交流（藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム等）
- 10) 役員選出選挙の実施

〔2023 年度収支決算報告〕

事務局会計担当 倉田委員に代わり高安会長より、2023 年度収支決算が報告された（表 1 参照）。

総会報告

〔2023 年度会計監査報告〕

会計監査 上田委員より、適正に処理されているとの報告があった。

議事 1 について、異議なく承認された。

議事 2. 2024（令和 6）年度

事業経過報告および予算案（当初及び補正）

〔2024 年度事業経過報告〕

事務局担当 倉田委員に代わり高安会長より、2024 年度事業の経過および今後の予定について、以下の報告があった。

1) 第 66 回大会開催 2024 年 8 月 22 日（木）、23 日（金）、24 日（土）
於 上田市交流文化芸術センター

2) 研究例会

第 254 回 2024 年 5 月 25 日（土） 近畿大学

第 255 回 2024 年 11 月 オンライン予定

第 256 回 2024 年 2 月 オンライン予定

3) 分科会（ウィリアム・モリス研究会等）

4) 刊行物（『デザイン理論』84・85 号、「会報」90 号（web 版））

5) 会員の募集

6) 広報活動の推進：ホームページのリニューアル

7) 意匠学会賞 各賞の授与

8) 国際交流委員会の活動

9) 役員会の開催（4 回）

10) 他学会等との交流（藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム、ACDHT 2023 TOKYO 等）

〔2024 年度当初予算および補正予算案〕

事務局会計担当 倉田委員に代わり高安会長より、2024 年度当初予算および補正予算案が説明された（表 2 参照）。

議事 2 について、異議なく承認された。

議事 3. 2025（令和 7）年度 事業計画案および予算案

〔2025 年度事業計画案〕

事務局担当 倉田委員代わり高安会長より、2025 年度事業計画案について、以下のように説明があった。

1) 第 67 回大会の開催（総会を含む）1 回

2) 研究例会（見学会を含む）3 回

3) 分科会（ウィリアム・モリス研究会等）1 回

- 4) 刊行物（『デザイン理論』86・87号、「会報」91号（web版））
- 5) 会員の募集
- 6) 広報活動の推進
- 7) 意匠学会賞 各賞の授与
- 8) 国際交流委員会の活動
- 9) 役員会の開催（4回）
- 10) 他学会等との交流（藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム等）

〔2025年度予算案〕

事務局会計担当 倉田委員に代わり高安会長より、2025年度予算案が説明された（表3参照）。

議事3について、異議なく承認された。

議事4. 学会運営に関して

高安会長から、業務委託を毎日フォーラムからSMOOSYに変更することについて説明があった。また、例会のあり方について意見を求める旨が示された。

議事4について、異議なく承認された。

議事5. 藝術学関連学会連合報告・デザイン関連学会シンポジウム報告

・藝術学関連学会連合シンポジウム：近藤会員に代わり三木副会長より以下の報告があった。

6月1日に東洋大学赤羽台キャンパスにて開催され、意匠学会は伊村靖子会員が発表した。

・デザイン関連学会シンポジウム：発表者の川島会員より以下の報告があった。

6月15日に東北芸術工科大学＋オンライン（Zoom）で開催された。

議事5について、異議なく承認された。

議題6. その他

特になし

審議終了後、高安会長から、アクティブな会員を求む旨が伝えられ、以上をもって、総会を閉会した。

なお、引き続き、2023（令和5）年度 意匠学会各賞の授与式が行われ、以下の会員に各賞が授与された。

総会報告

「意匠学会賞」受賞者：廣田 孝

「意匠学会論文賞」受賞者：該当者なし

「意匠学会作品賞」受賞者：上田 香

「意匠学会論文奨励賞」受賞者：矢島 由佳

表 1. 2023(R.5) 年度収支決算 (2024 年 8 月 23 日承認)
自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日

収入の部		
事 項	予算額 (補正)	決算額
前年度よりの繰越金	9,296,972	9,296,972
会員会費	2,488,000	2,256,000
	(8,000 × 311)	(8,000 × 282)
雑収入	0	0
利息	0	8
計	11,784,972	11,552,980

収入の部		
事 項	予算額 (補正)	決算額
『デザイン理論』編集費 (2023 ～ 25 年)	20,000	20,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	746,240
大会補助費	250,000	254,751
例会費	30,000	0
分科会費	10,000	0
ホームページ作成・維持費	10,000	8,402
学会賞等奨励金	150,000	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0	0
事務費	50,000	58,041
旅費	60,000	0
予備費	50,000	0
業務委託金	630,000	571,593
国際交流委員会活動費	50,000	47,300
編集委員会幹事委託料	200,000	200,000
本部事務局幹事委託料	50,000	50,000
広報委員会幹事委託料	150,000	150,000
選挙関連	0	0
名簿印刷費	0	0
会計事務費 (2023 ～ 25 年)	20,000	20,000
(支出合計)	(2,745,000)	(2,291,327)
次期繰越金	9,039,972	9,261,653
計	11,784,972	11,552,980

会員状況
2024/3/31 現在 (2023 年度入会者数 12 名 退会者数 10 名)

会員数	
会員種別	数
正会員	319
顧問	1
総計	320

計算式①の資料
2023 年度会費納入額 2023/4/1 ～ 2024/3/31

年度分	2023	2022	2021	総計
件数	245	29	8	282
入金額	1,960,000	232,000	64,000	2,256,000

表 2. 2024(R.6) 年度

予算及び補正予算案（2024 年 8 月 23 日承認）

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

収入の部		
事 項	予算額（補正）	決算額
前年度よりの繰越金	9,039,972	9,261,653
会員会費	2,488,000	2,552,000
	(8,000 × 311)	(8,000 × 319)
雑収入	0	0
利息	0	0
計	11,527,972	11,813,653

表 3. 2025(R.7) 年度

予算案（2024 年 8 月 23 日承認）

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

収入の部	
事 項	予算額
前年度よりの繰越金	7,377,353
会員会費	2,552,000
	(8,000 × 319)
雑収入	0
利息	0
計	9,929,353

収入の部		
事 項	予算額（補正）	決算額
『デザイン理論』編集費 (2023 ～ 25 年)	0	0
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	1,000,000
大会補助費	250,000	250,000
例会費	30,000	30,000
分科会費	10,000	10,000
ホームページ作成・維持費	10,000	1,741,300
学会賞等奨励金	150,000	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
事務費	50,000	50,000
旅費	60,000	60,000
予備費	50,000	50,000
業務委託業務費	630,000	630,000
国際交流委員会活動費	50,000	50,000
編集委員会幹事委託料	200,000	200,000
本部事務局幹事委託料	50,000	50,000
広報委員会幹事委託料	150,000	150,000
選挙関連	0	0
会計事務費（2023 ～ 25 年）	0	0
（支出合計）	(3,405,000)	(4,436,300)
次期繰越金	8,122,972	7,377,353
計	11,527,972	11,813,653

収入の部	
事 項	予算額
『デザイン理論』編集費 (2023 ～ 25 年)	0
『デザイン理論』印刷費	1,000,000
大会補助費	250,000
例会費	30,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	200,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
事務費	50,000
旅費	60,000
予備費	50,000
学会誌発送費用	275,000
SMOOSY（会員管理・会費納入管理 サービス）年間利用料	462,000
会費納入クレジットカード決済費用	80,000
国際交流委員会活動費	50,000
編集委員会幹事委託料	200,000
本部事務局幹事委託料	50,000
広報委員会幹事委託料	50,000
選挙関連	50,000
選挙費用（電子投票）	70,000
会計事務費（2023 ～ 25 年）	0
（支出合計）	(3,102,000)
次期繰越金	6,827,353
計	9,929,353

一般会務報告

2024 年度 第 1 回役員会 議事録

日時：2024 年 5 月 25 日（土）10：00～12：00

場所：近畿大学東大阪キャンパス 33 号館 303 教室

参加者：高安啓介、伊集院敬行、川島洋一、佐藤博一、橋本啓子、倉田麻里絵、多田羅景太、下出茉莉、佐々木一泰、谷本尚子、竹内有子、山本政幸、神野由紀、前崎信也、要真理子、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、石川義宗、平光睦子、近藤存志、大森正夫、吉村典子

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 2. 予算等について

資料にもとづき 2023 年度収支決算、2024 年度補正予算、2025 年度予算案について審議がおこなわれた。現在のところ毎日フォーラムへの業務委託費が、年間 60 万円ほどかかっており、名簿を電子化するならばさらに 20 万円上乗せになるので、会費収入に対する収支が赤字化していくことは避けられない見通しであることが確認された。学会誌をデジタル化することで、現在 100 万円近くかかっている発行費用を抑える提案もなされた。今後は、この可能性について検討していくこととなった。来年度より名誉顧問は、学会費の支払いを免除するものとして、規定を改めることとした。

議題 3. 学会賞について

資料が示され、伊原委員長より学会賞選考委員会での審議の結果について以下の報告がなされた。意匠学会賞は、廣田孝会員の業績『竹内栖鳳と高島屋 - 芸術と産業の接点』（2023）の刊行とそれに関する一連の研究にあてる。意匠学会論文賞については、該当者なしとして、意匠学会論文奨励賞を、矢島由佳会員の論文「江戸時代にみる花結びの伝承 - ジェンダーの視点から」にあてる。意匠学会作品賞は、上田香会員の作品「西陣織による Generative design」とする。

議題 4. スケジュールについて

資料にもとづき年間スケジュールの確認をおこなった。6月1日（土）に開催される芸術学関連学会連合シンポジウム、6月15日（土）に開催されるデザイン関連学会シンポジウム参加への案内がなされた。11月例会および2月例会については、開催校が決まらなかった。

一般会務報告

議題 5. 全国大会について

資料にもとづき 15 件の研究発表の申し込みと、6 件の作品発表の申し込みを確認し、発表要旨の審議の結果、全国大会において申し込みのすべての発表を認めることとした。ただし、会費未納の者については、支払い確認ののち発表を認めるものとしたこととなった。従来、申請者の名前を明らかにして審査をしてきたが、申請者の名前をふせたほうがいいのかという意見が出された。議論をおこない、従来通り、名前を出したまま審査をおこなうこととなった（理由：名前があったほうが条件つき採用などの判断がしやすいため）。

議題 6. 9 月特別例会について

資料が示され、倉田委員より、9 月 28 日（土）に関西学院大学で開催されるヴォーリーズ展記念講演会の案内がなされた。審議の結果、意匠学会が「後援」となり、この講演会を「特別例会」として会員の参加をうながすこととなった。

議題 7. ウィリアム・モリス研究会について

資料が示され、吉村委員より、11 月 30 日（土）にせんだいメディアテークにてウィリアム・モリス研究会を開催することについて報告がなされ、会員に参加をうながすとともに、従来よりも早めに発表募集をおこなうこととした。

議題 8. ホームページについて

佐々木委員よりホームページ作成にかかわる応募について説明がなされ、資料にもとづき提示された 2 案の金額やデザインなどについて検討した。結果、複数の業者にデモを依頼し、後日投票をおこない業者を選定することとなった。デザインにあたって、意匠学会のマークは尊重するものとした。ロゴ（文字）はもとより決まっておらず、デザイン募集をしたものの応募がなかったので、選定業者にロゴのデザインを一任することとした。今後はロゴマークの一体的使用について何からのルールを作成したほうがよいという意見が出された。

議題 9. 業務委託について

会員名簿に加え、入退会業務、選挙において、オンライン化することはすでに役員会において承認されている。システム導入費用がおよそ 50 万円、毎日フォーラム委託料が年間約 60 万円だったのが 80 万円となる。近年、毎日フォーラムと競合するサービスが出始めているので、他のサービスも視野に入れて、毎日フォーラムとの契約をいったん保留して、他のサービスと比較することとした。

議題 10. 入退会者、未納者について

入会希望者：山本泰子（奈良女子大学大学院）、はしもとさゆり（奈良女子大学大学院）、松村拓（京都工芸繊維大学大学院）、坂田万青（神戸大学大学院）、深谷佳那（関西学院大学大学院）、Laman Tarverdiyeva（島根大学大学院）、吉井こころ（ガラス造形作家・東京藝術大学大学院博士課程修了）

退会の確認：小林由起子（株式会社東方書店輸出部）、侯芳芳（京都精華大学）、関也（大阪工業大学）、天貝義教（秋田公立美術大学）、大井佐和乃（関西学院大学）、畑智子（京都文化博物館）

承認され、以下のことが確認された。

- ・退会希望者にたいして次年度の請求が来ないように、退会希望者については、役員会での報告を待たずに退会手続きを進めてよいものとする。

- ・3年以上の未納者については、一括して確認メールをしたのち、速やかに退会手続きを取る。

議題 11. 今後の例会について

学会発表しようと思う人は、聞き手の多い全国大会に集中しがちで、例会はもっぱら院生の力試しの場となっている。しかもその院生の数も減少傾向にあり、例会がふるわない傾向は続くと思われる。そこで、高安会長から、例会では特別企画をするものと考えてはどうかという提案がなされた。例会の発表時間の検討も含めて、新たな提案について積極的に検討していくこととなった。

〔報告事項〕

①天貝義教会員の逝去について報告がなされた。

2024 年度 第 2 回役員会 議事録

日時：2024 年 8 月 22 日（木）11：30～13：30

場所：上田市交流文化芸術センター（サントミューゼ）

ハイブリッド

参加者：高安啓介、伊集院敬行、川島洋一、佐藤博一、橋本啓子、倉田麻里絵※、多田羅景太、下出茉莉、佐々木一泰、谷本尚子、竹内有子※、神野由紀、前崎信也※、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、近藤存志、大森正夫※、三木順子、羽藤広輔、千代章一郎※、青木美保子、佐藤紗良、和田積希※

※オンライン出席

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

一般会務報告

議題 2. 総会資料の確認

総会に先立ち資料の確認がなされ、一部修正箇所が確認された。

議題 3. 例会の実施について

- ①資料が示され、9月28日（土）に関西学院大学にてヴォーリーズ展記念講演会が開催されるにあたり、意匠学会が「後援」となり、この講演会を「特別例会」として会員の参加をうながすこととしていることが確認された。
- ②11月16日（土）オンライン予定／特別企画を募る。
- ③2月8日（土）オンライン予定／特別企画を募る。

議題 4. ウィリアム・モリス研究会について

11月30日（土）にせんだいメディアテークにてウィリアム・モリス研究会を開催する。6月に発表募集をおこなっており申込みの締め切りは9月末としている。

議題 5. 幹事の交代について

本部事務局幹事の岡田弥生会員が就職のため幹事を退くこととなった。おもに、振り込みの仕事をおこなっていたが、当面はその仕事を高安会長がおこなうものとし、現在本部事務局担当の倉田委員が、会計幹事を兼ねることで、その仕事を補佐することについて、高安会長より提案がなされ、承認された。

議題 6. 奨励賞にたいする奨励金について

新設の奨励賞にたいする奨励金の金額が決まっていなかったことから、学会賞選考委員会にて審審議をおこなった結果、次のように定めることについて提案がなされ、承認された。

学会賞・論文賞・作品賞：5万

奨励賞：3万

議題 7. ホームページの作成について

資料が示され以下のことが報告された。7月24日（水）に高安会長・佐々木委員と乾陽亮氏のあいだで業務内容の確認が行われた。8月2日付けでホームページ作成の契約をした。費用1,741,300円のうち手付金として550,000円を支払っている。2025年3月31日までに作業が完了するものとする。

既存マークを使うことを確認しているが、マークの色や、ロゴタイプやそれらの使用法について提案があれば、9月5日までに事務局（佐々木委員）に伝える。デザイナーと調整したうえで方針を定めて、再度、役員にはかることとする。

議題 8. 業務委託について（資料 5）

会員名簿に加え、入退会業務、選挙において、オンライン化することはすでに役員会において承認されている。資料にもとづき以下の提案がなされた。現在契約している毎日フォーラムの他、アトラス社のサービス SMOOSY にも見積もりをとった。関連費用を含めると、年間コストはどちらのほうが有利とは言えない。しかし、サービス面についてみるならば、SMOOSY のメリットのほうが大きいと見られる。運営メンバーで検討した結果、来年度より SMOOSY に契約変更することを提案したい。

毎日学術フォーラム契約の場合

名簿電子化初年度：1,085,500 円（システム構築 41.8 万円）

次年度以降：832,290 円

委託料 63 万円／システム使用 20.2 万円

選挙実施年度：898,290 円

アトラス SMOOSY 契約の場合

初年度以降：817,000 円

利用料 46.2 万円／クレカ決済 8 万円／雑誌発送 27.5 万円／

雑誌発送はサービスに入っておらず北斗プリントに依頼

選挙実施年度：917,000 円

議題 9. 入退会者の承認

入会希望者：扇千花（名古屋芸術大学 教授）、吉原里花（慶応義塾大学大学院博士課程）、島貫悟（東北大学・芝浦工業大学 非常勤講師）

退会の確認：渡邊眞（京都市立芸術大学 名誉教授）、辻川愛理（滋賀県立大学大学院）、南有里子（金沢美術工芸大学大学院）、末永航（広島女学院大学）、大西範明（宝塚大学 名誉教授）

承認され、以下のことが確認された。

・退会希望者にたいして次年度の請求が来ないように、退会希望者については、役員会での報告を待たずに退会手続きを進めてよいものとする。

・3 年以上の未納者については、一括して確認メールをしたのち、速やかに退会手続きを取る。

議題 10. その他

多田羅委員も学会賞選考にあたることとした。

2024 年度 第 3 回役員会 議事録

日時：11 月 16 日（土）10：00～12：00 オンライン

参加者：高安啓介、三木順子、谷本尚子、佐々木一泰、多田羅景太、

一般会務報告

倉田麻里絵、川島洋一、佐藤博一、橋本啓子、竹内有子、山本政幸、神野由紀、要真理子、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、石川義宗、近藤存志、大森正夫、吉村典子、羽藤広輔、吉羽一之、青木美保子、和田積希

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 2. 2024 年大会の会計報告

承認された。

議題 3. 芸術学関連学会連合シンポジウム

5 月 31 日（土）に大阪大学中之島センターにて実施予定。

テーマが決定してから発表者の募集をかけることを確認した。

議題 4. 2025 年大会の開催について

第 67 回意匠学会大会は、京都女子大学でおこなうこととする。

2025 年 8 月 26 日（火）27 日（水）28 日（木）を候補日とする。

大会実行委員会を以下のように組織して準備にあたることとなった。

大会実行委員会

前崎信也（京都女子大学）

青木美保子（京都女子大学）

二瓶晃（京都女子大学）

谷本尚子（学会副会長）

三木順子（学会副会長）

議題 5. 2026 年開催の ACDHT について

橋本委員より 2025 年の ACDHT（アジアデザイン史論国際会議）の実施について提案がなされた。デザイン史学研究会との共同で、2025 年 9 月 6 日（土）7 日（日）近畿大学東大阪キャンパスにて対面開催することとし、テーマ「Design and Power」のもとで 15 本程度の発表の募集をおこなう旨の提案がなされ、これにもとづき準備を進めていくことが承認された。

議題 6. ホームページ作成について

①佐々木委員より、ホームページ作成の進行状況と、今後の見通しおよび検討課題について報告がなされた。デザイナーによる三通りの色彩案を確認した。視認性を高めるなどの意見が出された。

色やデザインについて要望があれば、本会議後 1 週間以内に、事務

局（佐々木委員）に申し伝えるものとし、以後、デザインについては、ホームページ作成 WG とデザイナーに一任することを確認した。

②この決定にもとづき 12 月上旬にパイロット版が完成する予定であり、コンテンツの確認をおこなうものとする。2 月にホームページが完成したのち、3 月に HP 管理者が試みに使用し、4 月に正式リリースする運びとなる。

③学会の明確なデザインポリシーがないことが指摘されたが、ホームページの作業がすでに進行しているため、ホームページのデザインが決定したのちに、意匠学会のロゴマークなどの使用規定を定め、学会誌にもそれを適用することを確認した。

④学会ホームページの運用にあたっては 5 名程度の HP 管理委員が書き込みをおこなうことになるだろうという見通しがしめされ、2 月の役員会にて、学会ホームページの管理ルール（規定）を佐々木委員が作成して提案することとした。

議題 7. 業務委託について

高安会長より、毎日フォーラムとの契約解除の約束が済んでおり、SMOOSY との契約に入るところであることについて報告がなされ、異議がないことが確認された。

議題 8. 学会賞について

学会賞選考委員会の伊原委員長より、作品賞の選考の経緯ならびに選考結果について、以下の報告がなされ、承認された。

2024 年度意匠学会作品賞 塚田章氏《源氏香図パターン・ジェネレーターの開発》

2024 年度意匠学会作品奨励賞 小鶴紀子氏《DIAMOND SHAKE》

議題 9. デザイン研究入門の出版について

資料が示され、高安会長より、学会の事業として教科書『デザイン研究入門』の出版および、ウェブサイト版『デザイン研究入門』（随時更新できるもの）の運営について提案がなされた。意匠学会の発展は、デザイン（工芸）研究者の数にかかっており、将来の学会員を育てるため、こうした「入門」の必要について説明がなされた。またそれに向けた準備として、例会にて研究会「デザイン史研究と教育」を実施することで、どのようなコンテンツが初学者にとって親切的なのかを考える機会をもうけることも提案された。今後引き続き審議していくこととした。

議題 10. 入退会者について

入会希望者：無

退会の確認：櫛勝彦（京都工芸繊維大学）

一般会務報告

承認された。

議題 11. 今後のスケジュールについて

資料にもとづき、以下の予定が示された。

・ 2024 年 11 月 16 日（土）13：00-16：00 例会

オンライン 発表者：多田羅景太、松村拓

・ 2024 年 11 月 30 日（土）12：50-17：00

ウィリアム・モリス研究会

せんだいメディアテークにて対面開催。

・ 2025 年 2 月 8 日（土）例会

オンライン 発表者未定 時間がゆるせば例会企画をおこなう。

・ 2025 年 5 月（日時未定）例会

近畿大学にて実施。発表者をなるべく早く決定。

・ 2025 年 5 月 31 日（土）芸術学関連学会シンポジウム

大阪大学中之島センターにて実施。

・ 2025 年 8 月 26 日（火）27 日（水）28 日（木）

第 67 回意匠学会大会

京都女子大学にて対面開催。

・ 2025 年 9 月 6 日（土）7 日（日）ACDHT 2025 OSAKA

近畿大学東大阪キャンパスにて対面開催。

2024 年度 第 4 回役員会 議事録

日時：2 月 8 日（土）10：00～12：00 オンライン

参加者：高安啓介、三木順子、谷本尚子、佐々木一泰、多田羅景太、倉田麻里絵、竹内有子、伊集院敬行、橋本啓子、山本政幸、神野由紀、前崎信也、要真理子、伊原久裕、石川義宗、平光睦子、大森正夫、吉羽一之、和田積希

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 2. 例会の今後のありかた

例会の問題点として、発表者がいないことが起こりがちなことに加え、参加者もオンラインのときは 30 名程度、対面となるとほんの少人数となる。例会のありかたを見直す時期に来ている。そこで、以下の提案がなされた。

・ 発表 30 分枠の新設

大学院生の力試しなど様々なニーズに応えることができるように、例会の発表時間を 50 分だけでなく 30 分も選択できるようにする。申し込み用紙にどちらか選択するための欄をもうける。

・大学院生対応

大学院生がはじめて学会発表をおこなう場合、①意匠学会の学会発表にこれまで参加したことがあるか ②大学の指導教員の許可を得ているか ③これまで十分に準備をしてきたか、発表予定日までに十分な準備ができるかを尋ねて、性急にならぬよう注意をうながす。

・特別企画の常設

発表者がいないので場当たりに、特別企画をするのではなく、年3回の例会ではかならず特別企画をするものとして予定を立てる。多くの会員の関心事となることをテーマとして、当面は『デザイン研究入門』の準備のための企画とすることが、会長から提案された。

議題 2. 芸術学関連学会シンポジウム

資料が示され、近藤委員からの伝言として、5月31日に大阪大学中之島芸術センターでシンポジウムを開催予定。テーマ「芸術と万国博覧会」について意匠学会からの発表者を募集中であると報告がなされた。

議題 3. デザイン関連学会シンポジウム

谷本委員より、次回のデザイン関連学会シンポジウムが、10月4日(土)に九州産業大学にて開催予定であることが報告された。テーマは未定。

議題 4. 全国大会について(資料2)

資料が示され、前崎委員より、第67回意匠学会大会が、8月26日(火)、27日(水)、28日(木)の3日間、京都女子大学にて実施予定であること、予定のプログラムについての報告がなされた。27日(水)の午前中、京都迎賓館にてエクスカーション、午後には同館にてコラボシンポジウムの予定。

以下について確認した。

- ・発表者の人数制限をもうけず発表募集をおこなう。
- ・今回については、学生ポスター発表の募集をおこなう。
- ・今回については、大会参加費を徴収しない。
- ・今回については、非会員の参加も認めることとする。
- ・大会運営費について25万円までは学会が補助する。
- ・新ホームページに大会の基本情報を掲載する(アーカイブ目的)。
- ・追加のページをつくるかどうかは開催校にまかせる。

議題 5. ACDHT について

資料が示され、橋本委員より、以下の提案がなされ、承認された。

- ・アジアデザイン史論会議 ACDHT を9月6日(土)、7日(日)に近畿大学において実施するとの報告がなされた。テーマは「Design

一般会務報告

and Power]、アブストラクトの締め切りは5月6日とする。

・国際交流委員会の活動費が毎年5万円計上されており2024-25の2年分の10万円をACDHTの実施にあてることとする。

・ACDHTの費用は、デザイン史学研究会との折半としており、意匠学会の負担分として、ホームページ構築に49,500円、ドメイン&サーバー使用料2021-2025年度分に16,466円を支払う。

議題6. 2025年度の年間スケジュール

高安会長から以下のように提案がなされた。

2025年

4月19日(土) 運営メンバー打ち合わせ(対面)

5月17日(土) 例会(近畿大学) 役員会/研究発表/
デザイン史研究と教育3

5月31日(土) 芸術学関連学会シンポジウム
(大阪大学中之島センター)

8月26日(火) 全国大会(京都女子大学) 役員会/
研究発表/総会

8月27日(水) 全国大会(京都迎賓館) エクスカーション &
シンポジウム

8月28日(木) 全国大会(京都女子大学) 研究発表

9月6日(土) アジアデザイン史論国際会議 ACDHT(近畿大学)

9月7日(日) アジアデザイン史論国際会議 ACDHT(近畿大学)

10月4日(土) デザイン関連学会シンポジウム

11月29日(土) 例会(大阪大学中之島センター) 役員会/
研究発表/特別企画

2026年

2月7日(土) 例会(オンライン) 役員会/研究発表/
特別企画

選挙(電子投票) 予定

議題7. 学会賞の選考について

資料が示され、学会賞選考委員長の伊原委員より、2024年度の学会賞については1件の自薦があったが該当者なしとするとの報告がなされた。審査結果に対して異論がなかったが、「著書のみに対する評価にとどまらず、その背景において、重ねられた業績をも対象とするものであるとの共通認識」が明文化されていないと十分な根拠になりえないという指摘がなされた。

議題8. 業務委託の移行について

多田羅委員より、毎日フォーラムからSMOOSYへの業務委託について説明がなされ、経費の面などを考慮して、会費納入はクレジッ

トカード支払いに一本化することについて提案がなされ、了承された。クレジットカード支払いできない人への対応は、事務局メンバーで考えることとする。

議題 9. ホームページリニューアルについて

資料にもとづき、以下のスケジュールが示された。

2 月中 新ホームページ確認完了

3 月中 運営メンバーにて仮運用（更新テスト）

4 月 ホームページ公開

5 月 例会にて運用ガイドの確認

以降 更新可能者の範囲を拡大

議題 10. ホームページに掲載する沿革について

資料にもとづき、新ホームページに掲載する学会の沿革について、今井委員の作成による案の確認をおこなった。意見があれば伝えることとし、この後の取りあつかいは事務局に一任することとした。

議題 11. 意匠学会 VI デザインポリシーの策定について

資料にもとづき、佐藤委員の作成による学会の Visual Identity ポリシー原案について検討をおこない、これを採用するものとし、ホームページから見るができるようにすることを確認した。学会のマークをオリジナルに忠実にするのか、多少の改変をおこなうのかについては、事務局および専門とする委員において検討を続けることとした。ホームページからマークのデータをダウンロードできるようにすることを確認した。

議題 12. 入退会者、会費未納者について

入会希望者：無

退会の確認：工藤真生（九州大学）

承認され、以下のことが確認された。

会費未納者について（2024 年 12 月現在）、3 年以上（43 名）、2 年（28 名）、1 年（50 名）

2 年以上の会費滞納者は退会したものとみなすことができるが、3 年は待つことを確認した。未納者について未納分を催促する。

議題 13. 法人会員について

現状の調査をおこない今後この枠を維持するのか検討することとした。

正会員 年額 8,000 円／法人会員（学校法人、一般法人）1 口年 15,000 円

一般会務報告

議題 14. デザイン研究入門の出版について

資料が示され、高安会長より、意匠学会の事業として『デザイン研究入門』の出版に向けての提案がなされた。デザイン研究者の減少や、ひいては会員の減少が懸念されるため、学問への親切的な導きとなるガイドが必要であるというのが理由である。趣旨について特段の反対がなかったため、同日の例会でも紹介をおこない、5月に具体的な提案をおこなうことが了承された。

会報担当連絡先

〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号 千葉商科大学 7号館2階 教員談話室
吉羽一之 宛 Tel : 047-373-9967 (研究室直通) E-mail : kyoshiha@cuc.ac.jp